

2021年 年頭にあたり 謹賀新年



本年も安全で質の高い医療・福祉を効率的かつ継続的に提供します

皆さま、新年おめでとうございます。2020年は新型コロナの発生により、世界中の人々にとって大変な一年でした。特に医療従事者の負担は大きく、中国、米国、ヨーロッパなどの逼迫した医療体制が毎日のように報道され、日本でも第3波を迎えるにあたり、多くの地域で医療機関の逼迫が問題となっていました。医療機関の所属する団体は多々あります。開業医を中心の医師会(岐阜県の医師数4,295名中、岐阜県医師会会員数2,854名)と、病院協会(岐阜県の病院数98施設中、岐阜県病院協会員病院86施設)が責任団体として、重要です(県主催の種々の新型コロナ関連会議には両者が呼ばれます)。

しかし、両者の立場は全く違います。開業医の先生方は、直接新型コロナに開業することはあまりないのに対しして、まさしく病院が新型コロナに対応しています。さらには、もちろん、開業医の先生方にとって、新型コロナによる受診控えは経済的大きな打撃ですが、病院もそのような経済的打撃を同様に受けています。さらに、病院のなかでも感染症指定医療機関や公立病院、特措法により指定された病院(当院は地方指定公共機関です)は、新型コロナ陽性患者の入院治療を担当しなければならないため、さらに重い負担が求められます。

一方、感染症指定医療機関や公立病院は、本年も宜しくお願い申し上げます。

新型コロナ後の医療界は大きく変わつて、医療機関は、そのような新興感染症に対する対応が求められています。そのため、役割分担が否応なしに進むことがあります。私たちには新型コロナ後、医療機関は、地域において適切な役割を果たす必要があります。私たちには、医療機関が医療機関に出向く機会が減り、必然的に投薬のみの受診は激減し、受診時の診療密度は高まるでしょう。病院では、役割分担ができないことになります。患者さんは、役割分担ができないことを理解していただきます。



社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院 理事長
松波 英寿

新型コロナウイルス 感染症に関する 面会禁止、 夜間施錠について

NEWS

当院では、入院患者さんを新型コロナウイルス感染症からお守りするため、面会禁止とさせていただいております。**病院からの連絡がない限り、お着替えの持参等も禁止させていただきます。**今後の面会の制約につきましては、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、病院ホームページ等でご案内します。

また、各施設の出入り口の夜間施錠を行っております。当院をご利用の皆さんには、多大なご迷惑とご不便をおかけしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

北館1階 南出入口

- 平日:18時00分～翌7時00分
- 土曜:12時00分～
- 日曜・祝日:終日

北館立体駐車場側 出入口

- 平日:14時00分～翌7時00分
- 土曜:12時00分～
- 日曜・祝日:終日

南館 正面玄関

- 平日:18時00分～翌7時30分
- 土曜:12時30分～
- 日曜・祝日:終日

※北側の正面玄関は西出入口を終日施錠、東出入口を終日開放します。

第23回市民公開講座を開催しました。

昨日12月12日(土)に、第23回市民公開講座を開催しました。

当院では、地域住民に対して医療への興味・关心を高め、日々の健康管理や健康増進に活かしていただくため、毎年市民公開講座を開催しております。

23回目を数える今回は、「新型コロナ感染症とインフルエンザ感染症を乗り越えるために」と題して、2つの感染症の同時流行への対策等を正しく学んでいただくために、講演を行いました。講師は、病院長代理・院内感染対策室長の鶴見寿医師と、感染管理認定看護師の文字雅義看護師という、当院が誇る感染対策のスペシャリスト2名が務めました。

講演では、新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症の特徴、感染源や感染の原因などについて解説しました。また、講演の終盤には正しい手指消毒の方法を来場者の方に、文字看護師が直接レクチャーを行うなど、感染症に対する正しい知識を身につけていただく機会になったかと思います。



駐車場のご案内

立体駐車場への入庫は、左折のみとさせていただきます。右折入庫は渋滞の原因となりますので、右折入庫をなさらないよう、ご理解とご協力をお願いいたします。



ARアプリ COCOAR2 導入しました!!

アプリを起動し、「月刊まつなみ」の表紙でお試しください!!
ダウンロード・詳しい使い方はこちらから!
(リンク先は病院HPです)

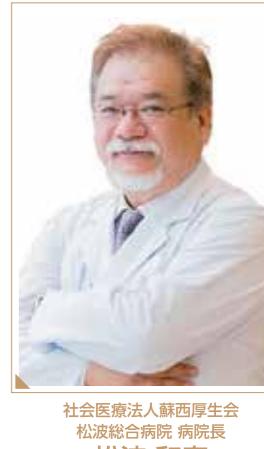
新年、明けましておめでとうございます 本年もよろしくお願ひいたします



新年明けましておめでとうございます。幸せな年でありますよう、祈念いたします。昨年、2020年は新型コロナウイルス感染症に振り回された1年でした。この月刊誌をご覧になつておられる皆さまにおかれまして、大変な1年だったかと思います。当院につきましては、「ご来院いただいた皆さまにマスク着用の徹底、検温の実施、手指消毒の徹底など院内感染防止のため、ご協力を強くお願いしました。診療面においても、触診をはじめとする対面での診療行為を極力減らさざるを得なくなりました。医療において、患者さんと医療従事者の直接のコミュニケーションは非常に重要ですが、コロナ禍において変化が求められました。当院の対策として、現在のIT技術で最大限の手段を導入してきました。具体的には、入院患者さんへの面会を、オンライン面会・面談に移行し、診察や問診では、来院前のA-I問診の導入やテレビ電話によるオンライン診療の実施などに取り組みました。また、当院では4つの3ヶ月ビジュヨンを掲げ、常に念頭に置きながら日々の診療にあたっています。

- ・地域包括ケアシステムの要として、
「日本の民間病院になる。」
- ・「誇りを持った職場になる。」
- ・「選ばれる病院になる。」
- ・「全職員が志と同じく、常に成長・変化できる組織になる。」

まさに、今の「V-I-T-E-Rコロナ」の社会で求められる病院のあるべき姿です。軸が崩れることなく、さまざまな環境要因に左右されずに、地域中核の総合病院としてさらにいく所存です。最後に、一人でも多くの方に健康で明るく幸せな生活ができますようお手伝いさせていただきます。本年も、よろしくお願い申し上げます。



新年明けましておめでとうございます。地域住民の皆さま、職員の皆さまにとって良き年になることを心からお祈り申し上げます。さて、言うまでもなく、世界では新型コロナ感染症の流行により、混乱が高まっております。3密を避ける行動、大流行地への移動制限あるいは社会活動の制限などを強いられ、それらに伴う極めて窮屈な思いや不安は計り知れないものとなつております。また、新型コロナ感染症は、疾患そのものが招く不安により、多くの差別や偏見を招き、社会活動が制限されることがあります。さらに、現在の新型コロナ感染症の影響により、一部の医療は停滞し、医療崩壊への危惧も叫ばれていますが、実は毎年新型コロナ感染症よりも三大感染症結核・マラリア・エイズでの死亡数が多い状態が続いています。

今私たちは、偏見や差別をなくし、正しく状況を理解して、新型コロナ感染症を乗り越えるとともに、それ以外の疾病に対する対策が疎かになることを避けなければなりません。このような状況下、羽島郡あるいはその周辺の住民の皆さまにとって、住み慣れた地域で、老若男女の全ての人が安心して暮らすことができるためには、地域で支え合うことができる社会・環境整備が必要です。医療は、人と人の触れ合いが最も重要な要素ですので、当院は地域連携医療機関の皆さまと顔の見える協力をしながら、新型コロナ感染症を含めた全ての疾病に取り組んでいきたいと考えております。地域の皆さまから信頼され、地域の「一」につしかりと応えることができる未来志向の病院です。激動の1年になると思われますが、本年も何卒よろしくお願い申し上げます。



新年明けましておめでとうございます。昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により「医療崩壊」といふ葉が聞かれた年でした。現時点において予断を許さない状況です。そのため、当院は発熱外来の設置、入院患者さんの行動制限、面会者制限等いろいろな対策をお願いいたしました。大変ご不便をおかけしたと思いますが、ご協力いただきありがとうございます。2021年も新型コロナウイルス

感染症が流行する限り、皆さまと一緒に、病院内の安全安心を確保していくことに努めています。どのような状況下でも、看護部は多職種と連携しながらチーム医療を強化し、より患者さんができるよう、探求してまいります。始まるでしょう。あと少しです。今年がより良い年になるよう一緒に頑張りましょう。

新年明けましておめでとうございます。身は自分で守るしか道はありません。感染対策の具体的な方法は、マスクと手指消毒の上に、「3密」を具体的にあわらした「5つの場面」。新型コロナウイルス感染症対策分科会を避けること、コロナ感染症の影響により、一部の医療は停滞し、医療崩壊への危惧も叫ばれていますが、実は毎年新型コロナ感染症よりも三大感染症結核・マラリア・エイズでの死亡数が多い状態が続いています。

今私たちは、偏見や差別をなくし、正しく状況を理解して、新型コロナ感染症を乗り越えるとともに、それ以外の疾病に対する対策が疎かになることを避けなければなりません。このような状況下、羽島郡あるいはその周辺の住民の皆さまにとって、住み慣れた地域で、老若男女の全ての人が安心して暮らすことができるためには、地域で支え合うことができる社会・環境整備が必要です。医療は、人と人の触れ合いが最も重要な要素ですので、当院は地域連携医療機関の皆さまと顔の見える協力をしながら、新型コロナ感染症を含めた全ての疾病に取り組んでいきたいと考えております。地域の皆さまから信頼され、地域の「一」につしかりと応えることができる未来志向の病院です。激動の1年になると思われますが、本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。当施設は平成30年から在宅支援、在宅復帰のため強化型介護老人保健施設となり、在宅支援、在宅復帰のための地域拠点としての役割を果たしてきました。昨年11月25日、当施設を含む法人が岐阜県介護人材育成事業者認定制度のグレード1に認定されました。これは介護人材の育成や職場環境整備について、県内介護業界をリードする質の高い取り組みを行っている事業者として認定

されています。どうぞよろしくお願い申します。されたことを意味します。今回生ける」と共に支える」を理念に、当施設を含む在宅事業部門としての中長期事業計画を策定しています。本年も、まつなみケアプランセンター、訪問介護ステーション、訪問介護サービスの提供で在宅生活を支援するべく努めてまいります。どうぞよろしくお願い申します。